

砂場・泥んこ遊び ～心が動き、豊かに発展する環境づくり～

「先生みてみて、こんなに大きなお山ができたよ。」「チョコレートケーキ、どうぞめしあがれ。」と、子どもたちは幼稚園で砂や土に触れながら、いろいろなものを創りだす楽しさを味わっています。例えば泥団子のように、何日もかけて形を整えるじっくりとした遊びも、お友だちと「ああしよう、こうしよう」と相談しながら大きな川をつないでいく遊びも、どれもそれぞれに喜びがあります。

◆子どもたちの遊びをより豊かにするために◆

「泥んこって気持ちいいな。」「もっと大きな山や川を作ってみたいな。」子どもたちのそうした感動や意欲をもっとたくさん増やしていくために、保育者もいっしょに砂や泥に触れることを楽しみます。

形を作ってはまた崩し、今度はまた新しいものを作って…という繰り返しや変化があるのも、砂や泥んこ遊びの魅力の一つです。

また、子どもたちが「砂や泥で遊ぶのって楽しそうだな。」と思えるきっかけになるような、遊びの内容、道具、環境などを日々の遊びの様子から検証し、整えていきます。



砂のケーキができたよ



道を作って車を走らせよう



ツリーハウス下でのおまごど



植物を使ってお料理ごっこ



お花をかざってかわいくするよ



<泥団子であそぼう>



土や砂をまぜて固めるんだよ



きれいにまあるくなったよ

<砂の山や川づくり>



自分たちでシャベルを使って掘り進めます



泥団子の坂ころがし



<おままごと遊びが広がって…>



すてきなカフェやホテルのお食事♪